

おおつち 社協会報

No. 90
2023.7



【編集・発行】

社会福祉法人 大槌町社会福祉協議会
住所：岩手県上閉伊郡大槌町大町9-50
TEL 0193-41-1511 FAX 0193-41-1512



主な記事

P1～2 令和4年度大槌町社会福祉協議会 事業報告

P3 大槌町社会福祉協議会 決算・予算

P4 令和5年度大槌町社会福祉協議会 事業計画

表紙の写真

令和5年6月6日、大槌学園4学年を対象に実施した『キャップハンディ体験（白杖・ガイドヘルプ）』の様子です。視覚障害を持つ方の疑似体験とサポートするガイドヘルプ役に分かれて体験しました。

令和4年度の本案事業活動は、大槌町地域福祉推進計画の基本理念である「支え、支えられ、安心と生きがいを育む地域福祉」を達成するため、令和4年9月に、令和4年度から令和8年度までの5ヶ年計画である「第3期大槌町地域福祉推進計画—地域福祉計画・地域福祉活動計画—」を大槌町とともに策定し、各種事業に取り組みました。

基本目標 1 地域で福祉を支える仕組みづくり

◆地域福祉意識の醸成

① 地域交流用具等の貸出し

自治会へ1件 NPO・ボランティアへ5件 企業・法人へ11件 その他20件
《主な貸出し物品》

テント、長机、パイプイス、キャンプ机、キャンパス等

② 住民支え合いマップづくり（課題報告会含む）

4地区 12回開催

◆地域のふれあい、交流の促進

① おおつち産業まつりへの参加

「おおつち産業まつり」に参加・出店し、地域との交流や社協事業の周知等に努めました。

内容 (1) 各事業所パネル展示 (2) 福祉体験・お振舞い (3) 福祉車両の展示・体験
(4) 被災地支援・物産展 (5) R4大雨災害、R4台風災害支援募金箱設置

約130名参加

◆地域活動やボランティア活動の活性化

① 町民ボランティアの育成

登録者数：雪かきボランティア 30人

レクリエーション兼キャップハンディサポーター 16人

② ボランティアの活動支援

ボランティア受入数：13団体 169人

(住民交流イベント：70人 花壇整備：10人 環境整備・維持活動：89人)

③ ボランティア保険加入促進

活動保険：33件 453人加入 行事保険：58件 4,008人加入

福祉サービス総合補償：3件 43人加入

④ ボランティア研修会の開催

2回開催 28人参加

⑤ 大槌町NPO・ボランティア活動団体連絡協議会の運営

参加団体：14団体

会議、イベント(3.11集い～灯火～)などの開催

◆地域福祉を担う人材育成

① 福祉協力校事業

指定学校数：3校(大槌学園・吉里吉里学園小学部・吉里吉里学園中学部)

活動費助成：1校あたり5万円

② キャップハンディ体験教室

「おしゃっち感謝デイ」にて実施

車いすの操作・移乗体験：10人参加 ユニバーサルデザインクイズ：130名参加

③ 防災学習・体験

吉里吉里学園中学部(避難所運営ゲーム(HUG)の体験) 17人参加

大槌学園(避難所運営ゲーム(HUG)の体験) 71人参加

大槌学園(避難所運営訓練・炊き出し訓練) 194人参加

④ 出前講座(生活支援相談員がお茶っこの会に出向き、レクリエーションなどを実施)

4回開催 80人参加

◆社会参加と生きがいづくりの推進

① お茶っこの会支援事業※町の補助事業

15地区 68回開催 延べ1,437人参加

② ふれあい昼食会助成 ※町の補助事業

新型コロナウイルス感染防止のため中止

③ 地域交流サロン

住民主体型サロンに移行したことにより、生活支援相談員によるサロン活動は令和3年12月をもって終了しましたが、開催支援は継続して行っています。



住民支え合いマップづくり



産業まつり出店
(被災地支援・物産展)



キャップハンディ体験教室



防災学習(大槌学園)



出前講座



ボランティア研修会
(刈払機講習会)

基本目標 2 必要な支援を受けられる体制づくり

◆情報提供・総合的な相談支援体制の充実

- ① 広報等による情報発信
社協会報、社協だより、こ茶っこ拠点カレンダー、おひさま便り（介護保険事業）、ワークフォローだより（障がい者就労継続支援事業）等の発行、ホームページの公開
- ② 生活支援相談員による訪問活動
○定期訪問活動
訪問回数 5,557 回
○こ茶っこ事業（地域見守り支援拠点事業）
県上町アパート集会所へ設置：99 日開所
延べ 1,288 人利用



生活支援相談員の訪問



こ茶っこ事業

◆福祉サービスの充実と質の向上

- ① 買物・見守り支援の実施（あんしん助っ人便事業）
利用人数 4 人 注文件数 13 件
- ② 配食サービスの実施 ※町の委託事業
実施日数 47 日（毎週木曜日の昼食） 延べ 787 食
- ③ 居宅介護支援事業（ケアプラン作成）
- ④ 訪問入浴介護事業
- ⑤ 訪問介護事業
- ⑥ 通所介護事業（大槌町デイサービスセンターはまぎく）
- ⑦ 小規模多機能型居宅介護事業（ほっとおおつち、ハイスこづち）
- ⑧ 障がい者就労継続支援事業【B 型非雇用型】（ワークフォローおおつち）



配食サービス事業



はまぎく
（春の曜日対抗運動会）



ほっとおおつち
（節分豆まきレク活動）

◆権利擁護の推進

- ① 日常生活自立支援事業
利用者 22 人

◆生活困窮者自立支援対策の実施

- ① 生活困窮者自立支援事業
新規相談件数：42 件 支援プラン作成件数：24 件 就労件数：2 件 食糧支援件数：27 件
- ② 食糧支援協定の締結
生活協同組合連合会コープ東北サンネット事業連合・いわて生活協同組合から、福祉的ニーズ等により食品等を必要としている団体及び個人に対して提供することにより社会福祉に寄与したい、との申し入れを受け、令和 5 年 3 月 6 日に、「コープフードバンク」食糧支援協定締結式を行いました。
- ③ たすけあい金庫貸付事業
3 件 60,000 円
- ④ 生活福祉資金貸付事業 ※県社協の委託事業
8 件 5,149,000 円



コープフードバンク締結式

基本目標 3 安心・安全に暮らせる地域づくり

◆地域福祉のネットワーク強化

- ① コミュニティソーシャルワーカーの配置
研修修了者 9 人
- ② 災害ボランティアセンター設置・運営訓練
設置会議：1 回開催 25 人参加 運営訓練：1 回開催 26 人参加

◆人にやさしいまちづくりの推進

- ① 移送サービスの実施
利用人数：5 人 運行回数：21 回



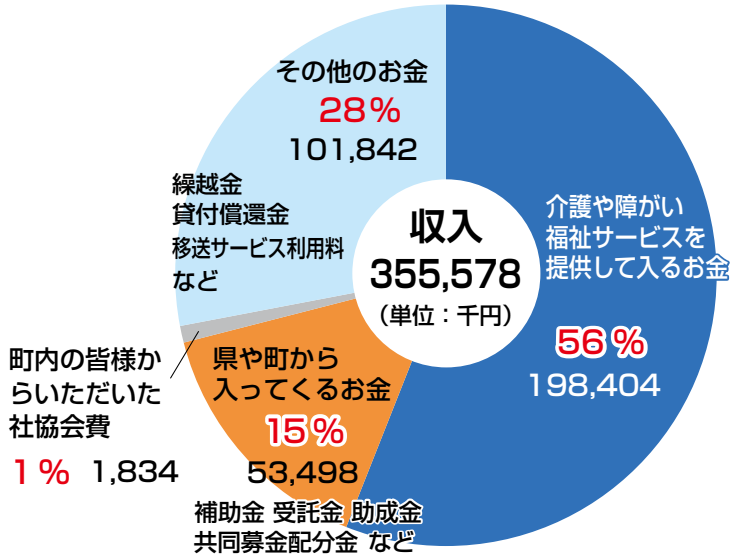
災害ボランティアセンター
設置・運営訓練

地域福祉を推進するための基盤づくり

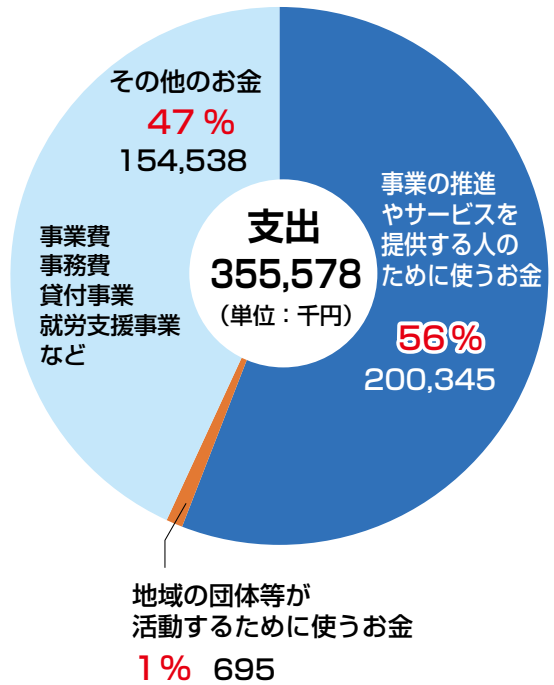
- ① 財政基盤の充実
寄付金：0 件 寄贈物品：6 件 《主なもの》電気ポット、ブルーシート、車いす用体重計、タオル、押し花額
- ② 社協会費加入運動の促進
3,680 世帯 1,833,000 円

令和4年度 決算の概要

収入の内訳

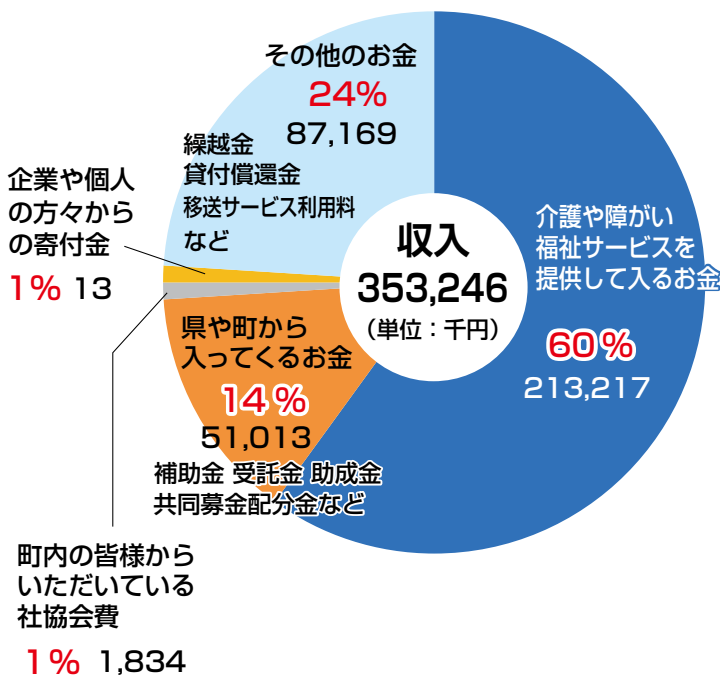


支出の内訳

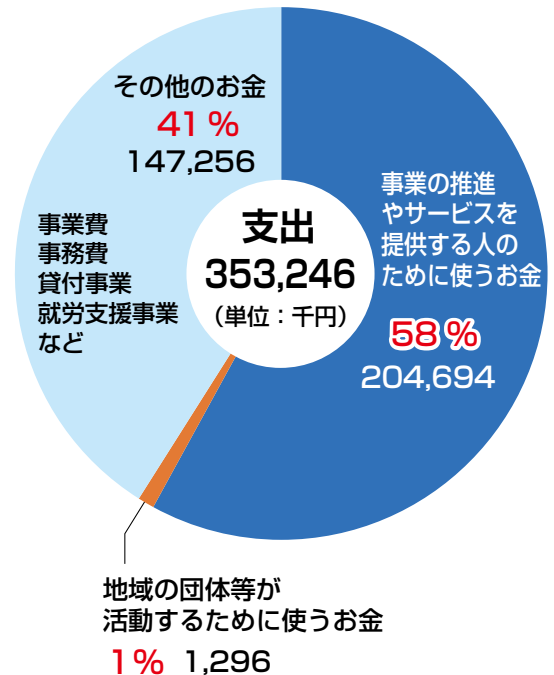


令和5年度 予算の概要

収入の内訳



支出の内訳



令和5年度 大槌町社会福祉協議会 事業計画

基本理念

- (1) 私たちは、だれもが安心して暮らせる「おおつち」の地域づくりをめざします。
- (2) 私たちは、個人の意思と人権を尊重しその生活を支えます。
- (3) 私たちは、常に地域の満足・利用者の満足・職員の満足をめざします。

上記、基本理念のもと、以下の基本目標に取り組んでまいります。

基本目標 1

地域で福祉を支える地域づくり

地域福祉の推進には、地域の中で支え合い、助け合う意識づくりや、支え合いの活動を担う人づくりが重要です。住民がお互いを理解し、尊重し合うことができるよう、学校や地域の中で福祉の心を育む教育や人権を理解する教育を充実させ、地域福祉の意識の向上を図ります。



基本目標 2

必要な支援を受けられる体制づくり

多様化・複合化している地域の生活課題に対応するために、保険・医療・福祉分野が連携し、福祉サービスに関する情報提供や相談支援を行い、必要な時に適切なサービスが利用できるような体制をつくります。



基本目標 3

安心・安全に暮らせる地域づくり

地域でいつまでも安心して暮らせるよう、「地域の安全は自分たちで守る」という考えのもと、日頃からの見守り体制の充実を促進し、生活に対する支援や防災・防犯対策など地域で安心して暮らせる環境づくりを推進します。



地域福祉を推進するための基盤づくり



社会福祉協議会は、社会福祉法に基づく大槌町唯一の町全体を活動範囲とする団体として、一般の社会福祉法人とは異なる幅広い役割が期待されています。

社協活動の役割や使命を明確にし、事業を実施していくための体制づくりや、社協事業に対する町民の認知度や理解度を一層高めるため、社協活動の見える化と情報提供を行います。

また、地域福祉活動に取り組むため、積極的に助成金や補助事業、委託事業などの財源を確保し、地域福祉を推進するための基盤づくりに取り組み、身近で頼られる社協をめざします。

地域活動
ふれあい
昼食会

笑顔があふれるひと時 【安渡・ふれあい昼食会】

新型コロナウイルスの影響で休止していた「ふれあい昼食会」が3年ぶり安渡地区で開催されましたので、開催時の様子をご紹介します。

安渡地区では、令和5年6月13日（水）に安渡公民館で「ふれあい昼食交流会」を開催しました。これまでふれあい昼食交流会の再開を心待ちにしていた55名の安渡地区住民、安渡地区出身者が参加しました。昼食を食べる前には、グランドゴルフやカラオケ、旧友とのおしゃべりなどそれぞれがやりたいことを行い、有意義な時間を過ごしました。

お楽しみのお昼時間、参加者には「助六寿司」に、安渡婦人会のお母さんの「手作りお味噌汁」と「お漬物」が並びました。昼食のおいしさと交流を深められる喜びも相まって、参加者たちにはうれしそうな笑顔があふれていました。



活動報告
ボランティア
センター

安全作業への第一歩 【刈払機講習会】

令和5年5月27日（土）大槌町中央公民館において、ボランティア入門講座「刈払機講習会～刈払機取扱作業者に対する安全衛生教育～」を開催しました。町内の自治・町内会や団体職員など10名が参加し、講師には、奥州市で活動している『KOKERA Works（コケラワークス）』の小山石 孝さんをお招きして、ご指導頂きました。

講座では刈払機の仕組みや種類などを教わりながら、理解を深め、実際に発生した草刈り作業中の重大事故や注意点について、グループワークを行いました。午後の実技では刈払機に触れながら、メンテナンス方法や替刃の交換方法について学びました。今回、初めて刈払機に触れる参加者もいて、エンジンの掛け方やコツなどを教わりながら、実際に体験していました。講習会の最後には受講証明書を一人ひとりに発行し、全行程を終了することができました。安全作業への理解を一層深めることのできた一日となりました。

社協では刈払機やレク用品などの貸出を行っています！

社会福祉協議会（総務課） ☎ 41-1511

- 作業用具（スコップや車輪、刈払機など）
- レク用品（的当て、かき氷機など）

ほっとおつち ☎ 55-6011

- レク用品（たこ焼きりばあしゲーム、シルバー川柳カルタ、回想カルタなど）

デイサービスはまぎく ☎ 42-2059

- レク用品（紅白玉入れ、輪投げセット、ゲートボール）

介護ステーション ☎ 41-1510

- 介護用品（車いす、ポータブルトイレ、バスボード）

※自治・町内会や団体への貸出となります。貸出期間は最長1週間です。
※営利目的や町外で開催するイベントへの貸出は行っていません。



今回は、『大槌駅前から始まる“町内コミュニティ花いっぱい運動”』を主催している大槌町商工会女性部のみなさんにインタビューを行いました。

■「花いっぱい運動」はどんな活動ですか？

「花いっぱい運動」は、商工会女性部が30年以上前から取り組んでいる活動です。大槌駅前や町内各所に花を植え、地域の方、大槌を訪れた方々が“ほっとできる場”をつくることを目的に開催しています。

また参加した住民同士が花植え作業を通して、自然と会話し、知り合いとなれるよう「コミュニティの構築」も目的の一つに掲げて活動を行っています。



■「花いっぱい運動」を開催してみて、どうですか？

商工会女性部としても、町全体が震災以前のような活気を取り戻すために、コミュニティの一助となるような活動を意識していく必要がありました。

「花いっぱい運動」に多くの住民や団体が関わられるよう、面と向かって協力の呼びかけや周知の声掛けを行い、活動終了後におやつやお茶のみをできる時間を設け、自然と会話が生まれるような工夫を行っています。

6月に行われた『花いっぱい運動』には、100名を超える参加者が集まりました。そこには地域住民だけではなく、町内の企業や団体、役場のコミュニティ担当職員などが参加し、「人」と「人」のつながりだけではなく、組織同士がつながることのできる活動となりました。

参加した住民からは、活動に参加したことで旧友との再会や新たな出会いに触れ、買い物など町中で会った時も『花いっぱい運動』の話が弾み、自然と交流ができていたと聞いたときはうれしかったです。

■大槌町への思い、みなさんに伝えたいこと

今後も懐かしい故郷の街並みや思い出に、大切に寄り添いながら、“郷土の女性の底力”を発揮し、地域とともに成長できるような活動を続けていきたいと考えています。『花いっぱい運動』だけではなく、多くの住民が関わり、交流を図るイベントが継続的に開催され、「コミュニティを形成できる活動」の輪が広がっていくことを期待しています。

花植え活動とコミュニティを同時に行えるととても良い取り組みですね！



【生活や暮らしのお困りごとへの問い合わせ先】

くらし・しごと相談所（大槌町社協内）

☎ 42-4355 FAX：42-1512

報告
くらし・しごと
相談所

必要な方へ食料を！

【食品ロス×生活支援】

令和5年3月6日(水)、いわて生活協同組合と「コープフードバンク食料支援協定」締結式を行いました。いわて生活協同組合では、「食品の無駄をなくすとともに、だれもが安心して暮らせる地域社会づくり」を目的に、2015年から活動を開始しています。

県内では、保護施設やNPO団体のほか、各市町村社協と締結し、本会が16団体目となります。

今後、ご支援いただいた食料は、くらし・しごと相談所を通して、生活でお困りの方へお届けします。

幸せの写真館

大槌学園 9 年生
最後の体育祭！
リレーも応援も精一杯
がんばりました



北上市にあるイチゴ園！
BIG サイズのイチゴを
堪能！
何個でも食べられます



投稿写真大募集！！

家族、ペット、風景など…
幸せを感じるお気に入りの
写真を募集しています。
※応募はこちらから →



いわてコーヒー
フェスティバル
日本各地のロー
スターさん達が集結。
最高でした！！

～ご寄付のお知らせ～

令和 5 年 2 月から令和 5 年 5 月までの
受付分をご紹介します。ご支援いただきま
した皆さまありがとうございました。
(敬称略)

【寄附金一覧】

○有限会社ウィルビー
代表取締役 志村尚一 … 炭

お知らせ

～ボランティア活動保険の 特定感染症特約の取扱いの変更について～

【変更内容】

2023 年 5 月 8 日から「新型コロナウイルス感染症」
につきまして、感染症法上の分類を季節性インフルエン
ザと同じ「5 類感染症」に位置付ける決定をしたことに
伴い、当該特約に規定する感染症に該当しないため、補
償対象外となります。

【問合せ・加入申し込み先】

大槌町社協ボランティアセンター ☎ 41-1511

大槌町社協ホームページ情報

町民の皆様には社会福祉協議会として、よりよい情報をお届
けできるようホームページを開設しています。パソコン、携
帯電話などでご覧ください。

携帯サイト

携帯電話でもサ
イトの一部を公
開中です。



<http://www.otsuchi-shakyo.jp/>

編集後記

今年も早いもので半年が過ぎ
ました。六月二十一日の「夏至」
が過ぎ、「これから陽が短くな
るんだなあ」と考えると、なん
だか寂しい気持ちになります。
これから夏本番です。みなさ
ん、熱中症対策はもうろんで
す。日焼け・シミ対策も忘れ
ず
に！
私は、肌が赤くなるだけで
すが、今年こそ、憧れのこんがり
素肌を目指します！